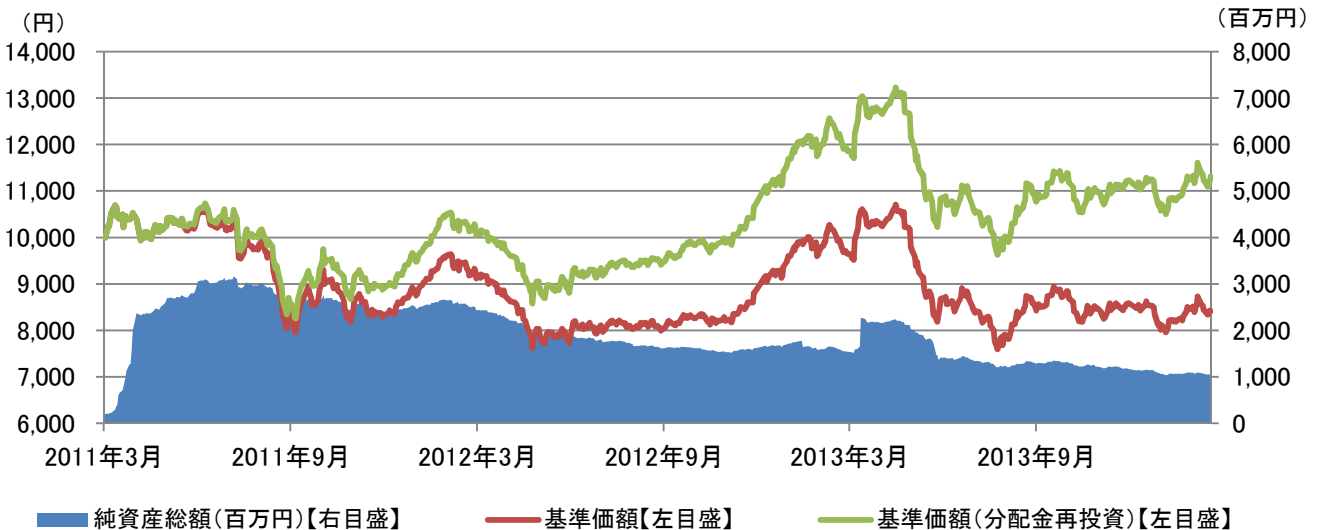


**PIMCO ニューワールドインカムファンド <ブラジルリアルコース> (毎月分配型)
第34期分配金のお知らせ**

追加型投信／海外／債券

平素は「PIMCO ニューワールドインカムファンド<ブラジルリアルコース>(毎月分配型)」をご愛顧賜り、厚く御礼申し上げます。
さて、この度当ファンドは、2014年3月20日に第34期の決算を迎え、当期の分配金を90円(1万口当たり、税引前)といたしましたことをご報告申し上げます。なお、設定来の分配金累計は2,600円(1万口当たり、税引前)となっております。
あわせまして、分配金引上げの背景や今後の見通しにつきまして、2ページ以降にQ&Aとしてまとめさせていただきましたので、ご高覧いただければ幸いに存じます。
今後とも、当ファンドをご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

基準価額の推移 (期間:2011年3月31日(設定日)～2014年3月20日)



・基準価額および基準価額(分配金再投資)は、信託報酬控除後の値です。
・基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。

分配金実績 (1万口当たり、税引前) (第1期～第34期)

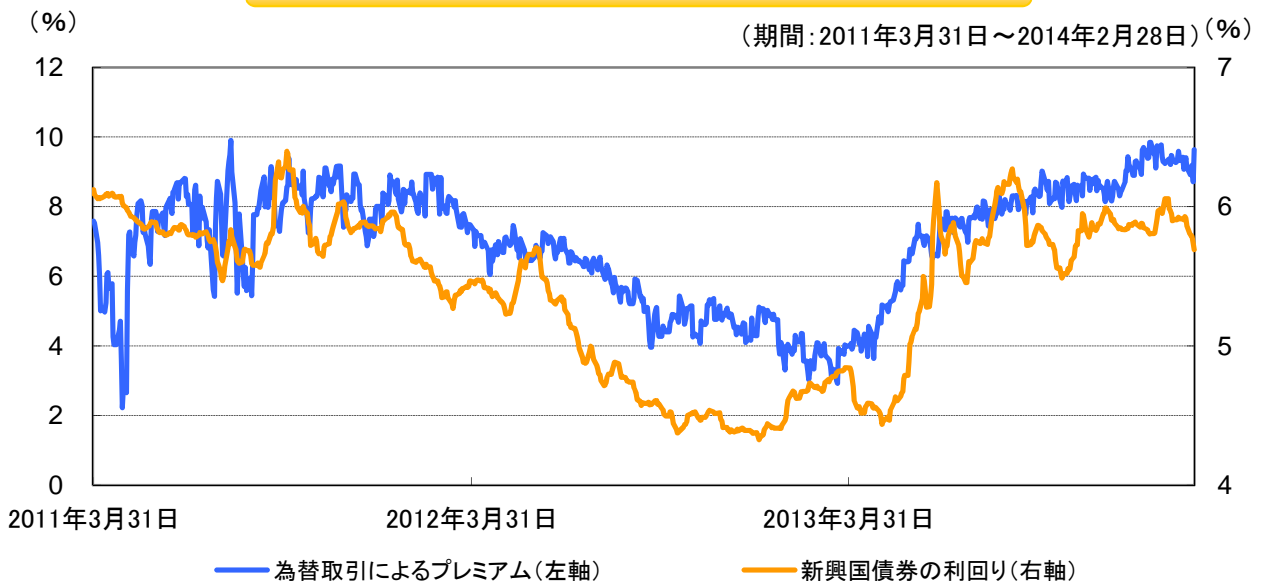
第1期 (11年6月)	第2期 (11年7月)	第3期 (11年8月)	第4期 (11年9月)	第5期 (11年10月)	第6期 (11年11月)	第7期 (11年12月)	第8期 (12年1月)	第9期 (12年2月)	第10期 (12年3月)
90円	90円	90円	90円	90円	90円	90円	90円	90円	90円
第11期 (12年4月)	第12期 (12年5月)	第13期 (12年6月)	第14期 (12年7月)	第15期 (12年8月)	第16期 (12年9月)	第17期 (12年10月)	第18期 (12年11月)	第19期 (12年12月)	第20期 (13年1月)
90円	90円	90円	90円	90円	90円	90円	90円	50円	50円
第21期 (13年2月)	第22期 (13年3月)	第23期 (13年4月)	第24期 (13年5月)	第25期 (13年6月)	第26期 (13年7月)	第27期 (13年8月)	第28期 (13年9月)	第29期 (13年10月)	第30期 (13年11月)
50円	50円	50円	50円	50円	50円	70円	70円	70円	70円
第31期 (13年12月)	第32期 (14年1月)	第33期 (14年2月)	第34期 (14年3月)						
70円	70円	70円	90円						

・運用状況によっては、分配金額が変わる場合、あるいは分配金が支払われない場合があります。
・基準価額、基準価額(分配金再投資)および分配金は、1万口当たりです。
・上記グラフ、数値は過去の実績・状況であり、将来の運用状況・成果等を示唆・保証するものではありません。
また、税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。

※後記の「当資料のご利用にあたっての注意事項等」をご覧ください。

PIMCO ニューワールドインカムファンド <ブラジルリアルコース> (毎月分配型)
Q1 なぜ分配金が引き上げられたのですか？
A. 新興国債券の利回りや為替取引によるプレミアムの水準を勘案して、引き上げを行いました。

2013年5月、米国では当時のFRB議長であるバーナンキ氏の発言を契機に金融緩和の縮小観測が急速に台頭、新興国の債券、通貨ともに売られる展開となりました。この影響から新興国債券の利回りは一時6%を超える水準にまで上昇、その後は6%をはさんでの推移となっています。一方、ブラジルリアル(以下、文中においてリアルと表記)は2013年8月に1リアル=40円台まで調整しましたが、当局が政策金利の相次ぐ引上げを行う等、リアル安防止に向けた姿勢を打ち出したことなどから下落の動きは一服しています。また、一連の政策金利引き上げによりブラジルの市場金利は上昇、リアルと米ドルの短期金利差に相当する為替取引によるプレミアムは拡大基調となりました。このような投資環境の中、当ファンドでは新興国債券の利回りや為替取引によるプレミアムの水準等を勘案して、分配金を70円から90円に引き上げることといたしました。

新興国債券の利回りと為替取引によるプレミアムの推移


(出所)ブルームバーグ社のデータより三菱UFJ投信作成

- ・為替取引にあたっては、一部新興国通貨の場合、「NDF(ノン・デリバラブル・フォワード)取引」を利用する場合があります。
- ・NDF取引とは、将来の所定の期日に当該通貨の受け渡しを行わず、主に米ドルなど主要通貨で差金決済のみ可能な為替先渡し取引(デリバティブ取引)です。
- ・NDF取引では、市場の期待値(需給)や規制の影響を大きく受けて価格が形成されます。そのため、為替取引によるプレミアム/コストは、理論上期待される短期金利差から大きく乖離する場合があります。

為替取引によるプレミアム/コスト: 各通貨の短期金利(米ドルは1ヵ月LIBOR、ブラジルリアルはJPモルガンELMI+の利回り)を使用して三菱UFJ投信にて算出。

新興国債券利回り: JPモルガンEMBIグローバル・ダイバーシファイドの最終利回り

- ・上記グラフは指数を使用しており、ファンドの運用実績を示すものではありません。指数については【当資料で使用している指数について】をご参照ください。
- ・上記グラフは過去の実績・状況であり、将来の運用状況・成果等を示唆・保証するものではありません。また、為替・税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- ・本見通ししない分析は作成時点での見解を示したものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。

※後記の「当資料のご利用にあたっての注意事項等」をご覧ください。

PIMCO ニューワールドインカムファンド <ブラジルリアルコース> (毎月分配型)
Q2 今後の投資環境と見通しについて教えてください。
(1) 新興国債券

足下の新興国債券市場は、アルゼンチンやウクライナなど経済、政治環境が混乱している一部の新興国において変動の大きい相場展開となる一方、相対的にファンダメンタルズの良い新興国では比較的安定した相場展開となるなど、投資家の選別色が見られています。今後も短期的な投資資金の動向に注意する必要があるものの、長期的な視点で運用する世界各国の年金基金などの機関投資家は、構造的に新興国に対する投資比率が低いと見られることから、新興国債券市況が大きく下落した際には同資産を積み増すと見込んでいます。ファンダメンタルズに目を向けると、今後も中長期的に新興国が先進国を上回る成長を達成すると予想されるものの、成長率は減速すると見ています。新興国債券への投資を考える上で重要な新興国の支払い能力については、海外資金の引き揚げが金融危機へとつながった過去の局面と比較すると飛躍的に高まっており、短期的な投資資金の引き揚げが新たな金融危機に繋がる可能性は低いと考えます。こうした環境下、新興国への投資は依然として魅力的であると考えています。

しかし、このような見通しは全ての新興国に当てはまるとは考えません。アルゼンチンやウクライナなどファンダメンタルズが脆弱な国々では、海外投資家の資金フローの変化によって資産価格が大きく変動する局面も見られています。米国の量的緩和策の縮小が継続すると見込まれるなかで、新興国への資金流入は国ごとにより選別的になると予想されます。したがって、各国の財政状況や対外収支状況などファンダメンタルズの分析に主軸を置いた投資対象国の選別が一層重要になると考えています。具体的には、米国の景気回復の恩恵を受けやすいメキシコ、潤沢な外貨準備高を有するブラジルなどの国々に対して積極姿勢とします。一方、ファンダメンタルズが脆弱で、かつ対外資金への依存度が高いハンガリーやアルゼンチンといった国々は、外部環境からの影響を受けやすい点も考慮し、消極姿勢とします。また米国金利の変動が高まるなか、金利リスクについては慎重なスタンスを継続します。

新興国債券(米ドルベース)

(期間: 2011年3月31日～2014年2月28日)



(出所)ブルームバーグ社のデータより三菱UFJ投信作成

- ・新興国債券(米ドルベース)は、2011年3月31日を100として指数化しています。
- ・上記は指数を使用しております。指数については、【当資料で使用している指数について】をご参照ください。
- ・計測期間が異なる場合は結果も異なる点にご注意ください。

- ・上記グラフは過去の実績・状況であり、将来の運用状況・成果等を示唆・保証するものではありません。
- ・本見通しないし分析は作成時点の見解を示したものであり、将来の市場環境の変動等を示唆・保証するものではありません。

※後記の「当資料のご利用にあたっての注意事項等」をご覧ください。

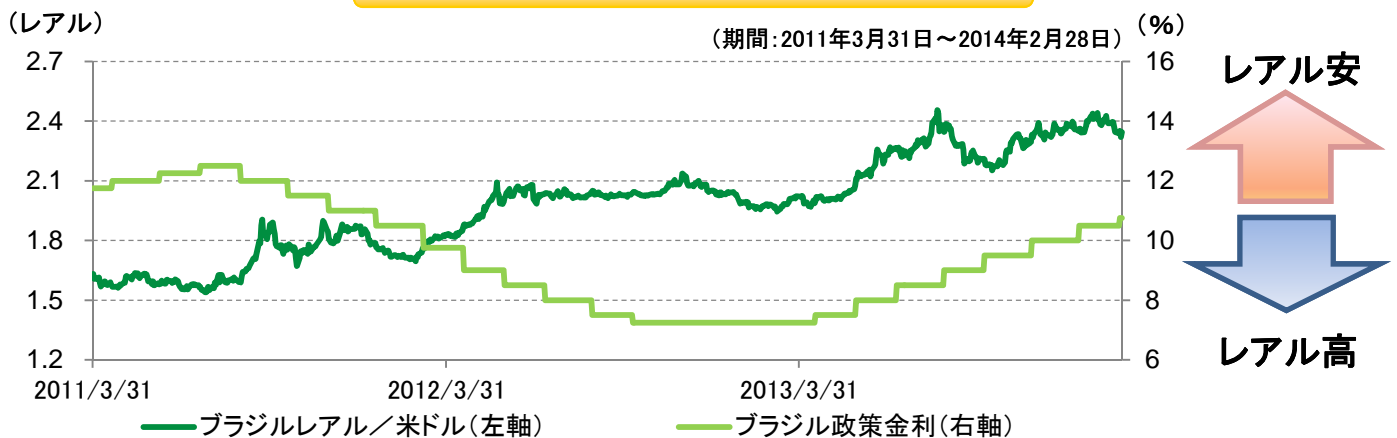
PIMCO ニューワールドインカムファンド <ブラジルリアルコース> (毎月分配型)
Q2 今後の投資環境と見通しについて教えてください。(続き)
(2) 為替

為替市場では、米国における量的緩和の縮小観測の高まりや、BCB(ブラジル中央銀行)とブラジル財務省の為替スタンスの相違から、2013年5月中旬から8月下旬にかけて為替は1レアル50円近辺から40円近辺まで下落しました。レアルは対米ドルでも調整が進んでおり、2014年2月末現在ではリーマン・ショック後の最高値から対米ドルで約34.3%値下がりするなど割安感が高まっています。このような状況のなか、ブラジル政府は2013年6月に海外投資家の債券投資等に課せられるIOF(金融取引税)を6%から0%へ引き下げたほか、2013年8月下旬よりレアル安に対し同国中銀が通貨防衛策を大幅に強化するなど、レアル下落防止スタンスを鮮明にしています。

ファンダメンタルズ(経済の基礎的条件)に目を向けると、製造業を中心とした輸入の増加に伴う貿易黒字の縮小等により、ブラジルの経常赤字は拡大しています。しかしながら、レアル安の進行による輸入品価格の上昇は、国内製品の価格競争力を高め、輸入増加のブレーキになることから、今後貿易収支は改善に向かうと期待されます。

また、金融政策面ではブラジルは新興国の中でもいち早く利上げを開始し、2013年4月以降で合計8回、3.5%の利上げを実施してきました。BCBがインフレ率の高止まりを予測する中、政策金利は引き続き高水準で維持される見込みであることも、レアルの下支え要因となりそうです。

今後については、米国の量的緩和策縮小に伴う新興国からの資金流出懸念や、ブラジルの経済成長の鈍化などが、引き続きリスク要因として残ります。しかしながら、相次ぐ政策金利の引き上げによりブラジルの金利水準は上昇、為替取引によるプレミアムは拡大しており、中長期投資を行うことによってインカム収入の積み上げが期待できる状況にあると考えています。

ブラジルの政策金利とブラジルレアル/米ドルの推移


(出所)ブルームバーグ社のデータより三菱UFJ投信作成

- ・上記グラフは過去の実績・状況であり、将来の運用状況・成果等を示唆・保証するものではありません。
- ・本見通しないし分析は作成時点の見解を示したものであり、将来の市場環境の変動等を示唆・保証するものではありません。

【当資料で使用している指数について】
■新興国債券:JPモルガンEMBIグローバル・ダイバーシファイド

JPモルガンEMBIグローバル・ダイバーシファイドとは、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが算出し公表している米ドル建ての新興国国債および国債に準じる債券のパフォーマンスを表す指数で、指数構成国の組入比率に調整を加えた指数です。組入比率の調整を行わない指数としてJPモルガンEMBIグローバルがあります。JPモルガンEMBIグローバル・ダイバーシファイドは、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが発表しており、著作権はJ. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属しております。

■新興国通貨の短期金利:JPモルガンELMI+

JPモルガンELMI+とは、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが算出し公表している新興国の現地通貨建ての短期金融市場の収益率を表す指数で、主に新興国の為替のフォワード取引等をもとに算出される指数です。JPモルガンELMI+は、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが発表しており、著作権はJ. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属しております。

※後記の「当資料のご利用にあたっての注意事項等」をご覧ください。

PIMCO ニューワールドインカムファンド <ブラジルリアルコース> (毎月分配型)**<ご参考>****Q1 基準価額と分配金の関係について教えてください。**

- A1 基準価額と分配金はそれぞれが個別のものではなく、合わせて考える必要があります。
基準価額は、投資している資産を時価評価して算出しており、ファンドの運用により得られた売買損益(評価損益が含まれます)や配当等収益が反映されています。
分配金は、ファンドの運用から得られた収益を受益者のみなさまに還元する手段の一つであり、分配金をお支払いする場合には純資産から支払いますので、分配金に相当する資産が減り、基準価額が下落します。(くわしくは、6ページの「収益分配金に関する留意事項」をご覧ください)

Q2 分配金の少ないファンドは分配金が多いファンドより劣るのですか？

- A2 分配金が多い、少ないということだけではファンドの優劣は判断できません。
分配金はファンドの純資産の一部をお支払いしているものです。したがって分配金を引き上げるとその分基準価額が下落することになりますし、分配金を引き下げると基準価額の下落が抑えられることとなります。
投資者のみなさまの投資成果は、投資期間中に受け取られた分配金の累計金額と投資期間における基準価額の増減額をあわせて考える必要があります。
したがって、分配金引き下げによりみなさまの受け取る分配金額が減少したとしても、それによりその期の投資成果が変わるものではありません。

※後記の「当資料のご利用にあたっての注意事項等」をご覧ください。

収益分配金に関する留意事項

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

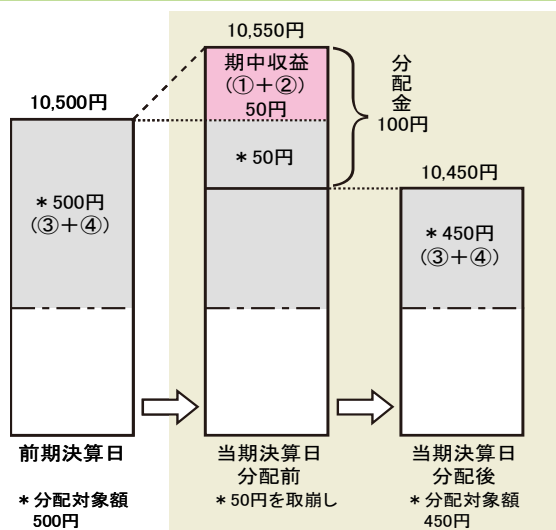


- 分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

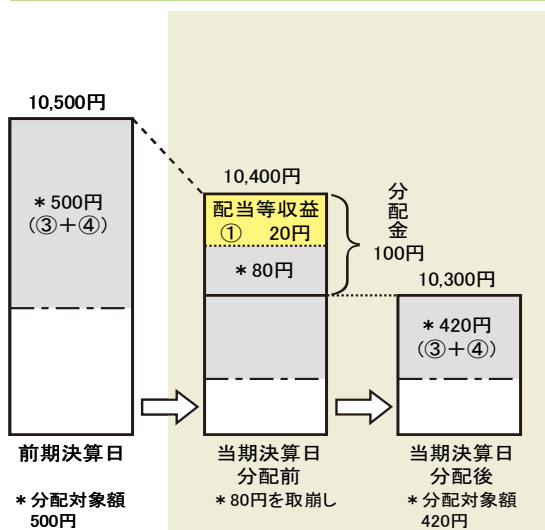
分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③分配準備積立金および④収益調整金です。
分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

(計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合)

(前期決算日から基準価額が上昇した場合)



(前期決算日から基準価額が下落した場合)



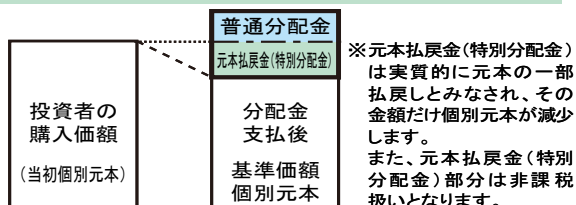
※上記はイメージであり、実際の分配金額や基準価額を示唆するものではありませんのでご注意ください。

分配準備積立金: 当期の①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益のうち、当期分配金として支払わなかった残りの金額をいいます。信託財産に留保され、次期以降の分配金の支払いに充当できる分配対象額となります。

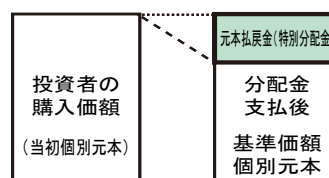
収益調整金: 追加型投資信託で追加設定が行われることによって、既存の受益者への収益分配可能額が薄まらないようにするために設けられた勘定です。

- 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。

(分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合)



(分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合)

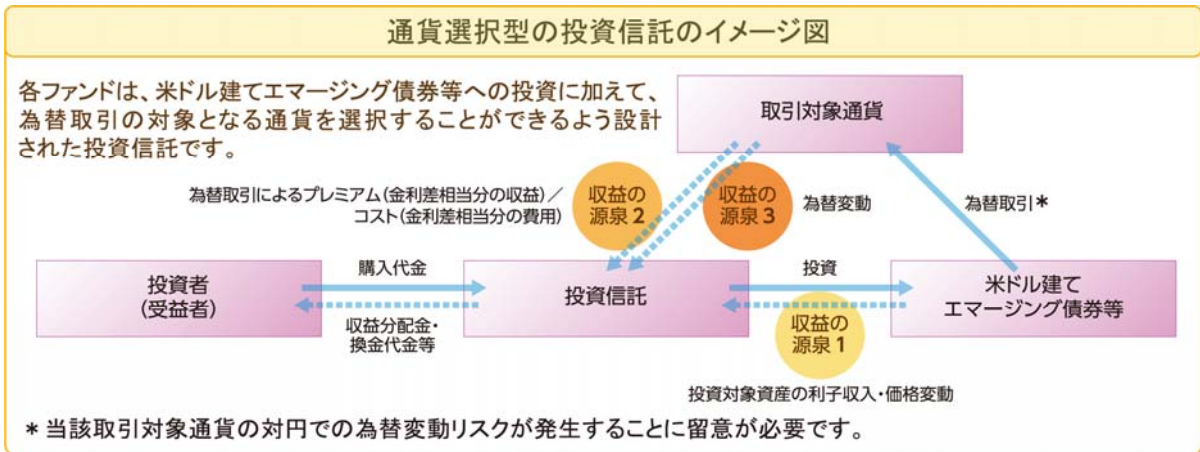


普通分配金: 個別元本(投資者のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。

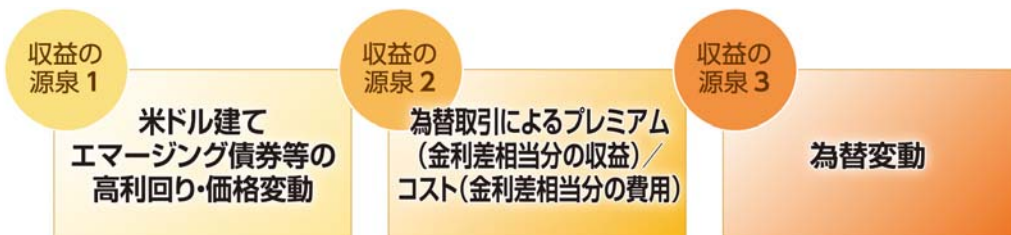
元本払戻金(特別分配金): 個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資者の個別元本は、元本払戻金(特別分配金)の額だけ減少します。

(注) 普通分配金に対する課税については、投資信託説明書(交付目論見書)をご参照ください。

■通貨選択型ファンドの収益のイメージ



● 各ファンドの収益の源泉としては、以下の3つの要素があげられます。



● 各ファンドにおける収益の源泉と基準価額の変動要因は以下の通りです。

それぞれの収益源に相応してリスクが内在していることに留意が必要です。



PIMCO ニューワールドインカムファンド
ファンドの目的・特色
■ファンドの目的

米ドル建てを中心とした世界のエマージング債券等を実質的な主要投資対象とし、利子収益の確保および値上がり益の獲得をめざします。

■ファンドの特色

PIMCO ニューワールドインカムファンドは、以下の8本のファンドで構成される投資信託です。

<豪ドルコース>(毎月分配型)	/	<豪ドルコース>(年2回分配型)
<ブラジルリアルコース>(毎月分配型)	/	<ブラジルリアルコース>(年2回分配型)
<メキシコペソコース>(毎月分配型)	/	<メキシコペソコース>(年2回分配型)
<世界通貨分散コース>(毎月分配型)	/	<世界通貨分散コース>(年2回分配型)

* 世界通貨分散コースにおいては、12通貨(豪ドル、ブラジルリアル、メキシコペソ、カナダドル、インドネシアルピア、インドルピー、韓国ウォン、ロシアルーブル、トルコリラ、ユーロ、英ポンド、米ドル)への実質的な配分は12分の1程度ずつになることを基本とします。ただし、投資環境、資金動向、為替の変動等により、実質的な通貨配分が12分の1程度ずつからカイ離する場合があります。

・主として円建外国投資信託への投資を通じて、米ドル建てを中心とした世界のエマージング債券(新興経済国の政府および政府機関等の発行もしくは保証する債券(ソブリン債券、準ソブリン債券))に実質的な投資を行います。また、エマージング債券と同様の投資効果を持つ派生商品を活用する場合があります。証券投資信託であるマネー・マーケット・マザーファンド(わが国の短期公社債等に投資)への投資も行います。(ファンド・オブ・ファンズ方式)

・投資対象とする円建外国投資信託への投資は高位を維持することを基本とします。

・投資信託証券への運用の指図に関する権限をピムコジャパンリミテッドに委託します。

・各ファンドが投資を行う外国投資信託においては、米ドル建てを中心としたエマージング債券等に投資を行う一方で、米ドル売り、各ファンドの対象通貨買いの為替取引を行います。これにより、「為替取引によるプレミアム(金利差相当分の収益)/コスト(金利差相当分の費用)」、「為替差益/差損」が生じます。

・各ファンドの取引対象通貨の短期金利が米ドルの短期金利より高い場合、当該ファンドでは「為替取引によるプレミアム(金利差相当分の収益)」の獲得が期待できます。一方、各ファンドの取引対象通貨の短期金利が米ドルの短期金利より低い場合、当該ファンドでは「為替取引によるコスト(金利差相当分の費用)」が生じます。

* 為替取引にあたっては、一部新興国通貨の場合、「NDF(ノン・デリバラブル・フォワード)取引」を利用する場合があります。

<世界通貨分散コースについて>

・通貨の分散を考慮し、原則として12通貨へ投資を行います。また、各通貨の実質的な配分が概ね均等になることを基本とします。

・組入通貨については、世界各国の長期的な経済構造の変化等を考慮し、入替えを行う場合があります。なお、資本規制等が設けられ、継続的な投資が困難となった場合等には、当該通貨を除外することがあります。

・世界通貨分散コース(毎月分配型)および世界通貨分散コース(年2回分配型)が投資対象とする投資信託証券については、今後変更となる場合があります。

・豪ドルコース(毎月分配型)、ブラジルリアルコース(毎月分配型)、メキシコペソコース(毎月分配型)、世界通貨分散コース(毎月分配型)は毎月の決算時(20日(休業日の場合は翌営業日))に、豪ドルコース(年2回分配型)、ブラジルリアルコース(年2回分配型)、メキシコペソコース(年2回分配型)、世界通貨分散コース(年2回分配型)は年2回の決算時(6・12月の各20日(休業日の場合は翌営業日))に収益分配を行います。ただし、分配対象収益が少額の場合は、分配を行わないことがあります。また、分配金額は運用実績に応じて変動します。将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

* 世界通貨分散コース(毎月分配型)の初回決算日は2013年9月20日、世界通貨分散コース(年2回分配型)の初回決算日は2013年12月20日です。

<スイッチングについて>

・各ファンド間でスイッチングが可能です。スイッチングの際の購入時手数料は、販売会社が定めるものとします。また、換金するファンドに対して税金がかかります。なお、販売会社によっては、スイッチングの取扱いを行わない場合があります。詳しくは、販売会社にご確認ください。

《ご購入の際には、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。》

委託会社(ファンドの運用の指図等)	三菱UFJ投信株式会社
受託会社(ファンドの財産の保管・管理等)	三菱UFJ信託銀行株式会社
販売会社(購入・換金の取扱い等)	後記の各照会先でご確認いただけます。

設定・運用 …三菱UFJ投信株式会社
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号
 加入協会 一般社団法人投資信託協会
 一般社団法人日本投資顧問業協会

PIMCO ニューワールドインカムファンド

投資リスク

■基準価額の変動要因

ファンドの基準価額は、組み入れている有価証券等の価格変動による影響を受けますが、これらの運用により信託財産に生じた損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。

したがって、投資者のみなさまの投資元金が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。

投資信託は預貯金と異なります。

ファンドの基準価額の変動要因として、主に以下のリスクがあります。

市場リスク

(価格変動リスク)

一般に、公社債の価格は市場金利の変動等を受けて変動するため、ファンドはその影響を受け組入公社債の価格の下落は基準価額の下落要因となります。

(為替変動リスク)

「世界通貨分散コース(毎月分配型)および世界通貨分散コース(年2回分配型)以外の各コース」

各ファンドの組入外貨建資産は主として米ドル建て資産ですが、米ドル売り、各ファンドの対象通貨買いの為替取引を行うため、各ファンドの対象通貨の対円での為替変動の影響を大きく受けます。

為替取引を行う場合で当該通貨の金利が米ドル金利より低いときには、これらの金利差相当分が為替取引によるコストとなります。

為替に関する取引規制等がある場合など、通貨によっては、取引量が少なく需給動向等の影響を受けやすいため、市場で取引もしくは公表されている金利と大きく乖離した金利水準をもとに取引されることがあります。このため、当該通貨の金利が米ドルより高いときであっても、為替取引によるコストが生じる場合があります。

「世界通貨分散コース(毎月分配型)および世界通貨分散コース(年2回分配型)」

各ファンドの組入外貨建資産は主として米ドル建て資産ですが、米ドル売り、世界通貨買いの為替取引を行うため、当該世界通貨の対円での為替変動の影響を大きく受けます。

為替取引を行う場合で当該通貨の金利が米ドル金利より低いときには、これらの金利差相当分が為替取引によるコストとなります。

為替に関する取引規制等がある場合など、通貨によっては、取引量が少なく需給動向等の影響を受けやすいため、市場で取引もしくは公表されている金利と大きく乖離した金利水準をもとに取引されることがあります。このため、当該通貨の金利が米ドルより高いときであっても、為替取引によるコストが生じる場合があります。

*世界通貨は、豪ドル、ブラジルレアル、メキシコペソ、カナダドル、インドネシアルピア、インドルピー、韓国ウォン、ロシアルーブル、トルコリラ、ユーロ、英ポンド、米ドルが各々12分の1程度ずつで構成されます。

信用リスク

組入有価証券等の発行者や取引先等の経営・財務状況が悪化した場合またはそれが予想された場合もしくはこれらに関する外部評価の悪化があった場合等には、当該組入有価証券等の価格が下落することやその価値がなくなること、または利払い・償還金の支払いが滞ることがあります。

流動性リスク

有価証券等を売却あるいは取得しようとする際に、市場に十分な需要や供給がない場合や取引規制等により十分な流動性の下での取引を行えない場合または取引が不可能となる場合、市場実勢から期待される価格より不利な価格での取引となる可能性があります。

カントリーリスク

新興国への投資は、先進国への投資を行う場合に比べ、投資対象国におけるクーデターや重大な政治体制の変更、資産凍結を含む重大な規制の導入、政府のデフォルト等の発生による影響を受けることにより、市場・信用・流動性の各リスクが大きくなる可能性があります。

■その他の留意点

・ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリングオフ)の適用はありません。

■リスクの管理体制

ファンドのコンセプトに沿ったリスクの範囲内で運用を行うとともに運用部門から独立した管理担当部署によりリスク運営状況のモニタリング等のリスク管理を行っています。

また、運用委託先で投資リスクに対する管理体制を構築していますが、委託会社においても運用委託先の投資リスクに対する管理体制や管理状況等をモニタリングしています。

PIMCO ニューワールドインカムファンド
手続・手数料等
■お申込みメモ

購入単位	販売会社が定める単位／販売会社にご確認ください。
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額 ※ファンドの基準価額は1万円当たりで表示されます。基準価額は委託会社の照会先でご確認ください。
購入代金	販売会社の定める期日までに販売会社指定の方法でお支払いください。
換金単位	販売会社が定める単位／販売会社にご確認ください。
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額
換金代金	原則として、換金申込受付日から起算して5営業日目から販売会社においてお支払いします。
申込締切時間	原則として、午後3時までに販売会社が受け付けた購入・換金のお申込みを当日のお申込み分とします。
申込不可日	ニューヨーク証券取引所の休業日、ニューヨークの銀行の休業日、その他ニューヨークにおける債券市場の取引停止日は、購入・換金のお申込みができません。2014年の該当日は1月20日、2月17日、4月18日、5月26日、7月4日、9月1日、11月11日、11月27日、12月25日です。なお、休業日および取引停止日は変更される場合があります。
換金制限	ファンドの資金管理を円滑に行うため、大口の換金のお申込みには制限を設ける場合があります。
購入・換金申込受付の中止および取消し	金融商品取引所等における取引の停止、その他やむを得ない事情（投資対象国における非常事態（金融危機、デフォルト、重大な政策変更や資産凍結を含む規制の導入、自然災害、クーデターや重大な政治体制の変更、戦争等）による市場の閉鎖もしくは流動性の極端な減少等）があるときは、購入・換金のお申込みの受付を中止することおよびすでに受け付けた購入・換金のお申込みの受付を取り消すことがあります。
信託期間	豪ドルコース（毎月分配型）／ブラジルリアルコース（毎月分配型） 2021年6月21日まで（2011年3月31日設定） メキシコペソコース（毎月分配型） 2021年6月21日まで（2013年1月16日設定） 豪ドルコース（年2回分配型）／ブラジルリアルコース（年2回分配型）／メキシコペソコース（年2回分配型） 2021年6月21日まで（2013年2月20日設定） 世界通貨分散コース（毎月分配型）／世界通貨分散コース（年2回分配型） 2021年6月21日まで（2013年7月1日設定）
繰上償還	各ファンドについて、受益権の口数が10億口を下回ることとなった場合、または各ファンドの受益権の口数を合計した口数が50億口を下回ることとなった場合等には、信託期間を繰り上げて償還となる場合があります。 世界通貨分散コース（毎月分配型）／世界通貨分散コース（年2回分配型） 投資対象とするすべての外国投資信託が償還する場合には繰上償還となります。 各ファンド（世界通貨分散コース（毎月分配型）、世界通貨分散コース（年2回分配型）を除く） 投資対象とする外国投資信託が償還する場合には繰上償還となります。
決算日	豪ドルコース（毎月分配型）／ブラジルリアルコース（毎月分配型）／メキシコペソコース（毎月分配型）／世界通貨分散コース（毎月分配型） 毎月20日（休業日の場合は翌営業日） ※世界通貨分散コース（毎月分配型）の第1回目の決算日は2013年9月20日 豪ドルコース（年2回分配型）／ブラジルリアルコース（年2回分配型）／メキシコペソコース（年2回分配型）／世界通貨分散コース（年2回分配型） 毎年6・12月の各20日（休業日の場合は翌営業日） ※世界通貨分散コース（年2回分配型）の第1回目の決算日は2013年12月20日
収益分配	豪ドルコース（毎月分配型）／ブラジルリアルコース（毎月分配型）／メキシコペソコース（毎月分配型）／世界通貨分散コース（毎月分配型） 毎月の決算時に分配を行います。 豪ドルコース（年2回分配型）／ブラジルリアルコース（年2回分配型）／メキシコペソコース（年2回分配型）／世界通貨分散コース（年2回分配型） 年2回の決算時に分配を行います。 ※販売会社との契約によっては、収益分配金の再投資が可能です。
課税関係	課税上、株式投資信託として取り扱われます。 公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」の適用対象です。 詳しくは販売会社にお問い合わせください。

PIMCO ニューワールドインカムファンド
手続・手数料等
■ファンドの費用・税金
・ファンドの費用
【お客さまには以下の費用をご負担いただきます。】
お客さまが直接的に負担する費用
購入時

購入時手数料	購入価額× 3.15%* (税抜 3%) (上限) / 販売会社にご確認ください。 ※消費税率が8%となる2014年4月1日以降は、 3.24% となります。
--------	---

換金時

信託財産留保額	ありません。
---------	--------

お客さまが信託財産で間接的に負担する費用
保有期間中

運用管理費用 (信託報酬)	純資産総額× 年1.7325%* (税抜 年1.65%) ファンドが投資対象とする投資信託証券では運用管理費用(信託報酬)はかかりませんので、お客さまが負担する実質的な運用管理費用(信託報酬)は上記と同じです。 ※消費税率が8%となる2014年4月1日以降は、 年1.782% となります。
------------------	--

その他の費用・ 手数料	売買委託手数料等、監査費用等を信託財産からご負担いただきます。 これらの費用は運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することができません。
----------------	--

※運用管理費用(信託報酬)、監査費用は毎日計上され、毎決算時または償還時に信託財産から支払われます。その他の費用・手数料(監査費用を除きます。)は、その都度信託財産から支払われます。

※購入時手数料、運用管理費用(信託報酬)およびその他の費用・手数料(国内において発生するものに限り。)には消費税等相当額が含まれます。

※お客さまにご負担いただく手数料等の合計額は、購入金額や保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

・購入時手数料に関する留意事項

お客さまにご負担いただく購入時手数料の具体的な金額例は以下の通りです。下記はあくまでも例示であり、手数料率は販売会社ごとに異なります。また、販売会社によっては金額指定、口数指定どちらかのみのお取扱いになる場合があります。

詳しくは、販売会社にご確認ください。

【金額を指定して購入する場合】

購入金額に購入時手数料を加えた額が指定金額となるよう購入口数を計算します。例えば、100万円の金額指定でご購入いただく場合、お支払いいただく100万円の中から購入時手数料(税込)をご負担いただきますので、100万円全額が当該ファンドの購入金額となるものではありません。

【口数を指定して購入する場合】

～手数料率3.15%*(税込)の例～

例えば、基準価額10,000円(1万口当たり)の時に100万口ご購入いただく場合、購入時手数料=(10,000円÷1万口)×100万口×3.15%*=31,500円*となり、合計1,031,500円*をお支払いいただくこととなります。

※消費税率が8%となった場合は、手数料率3.24%、購入時手数料32,400円、合計1,032,400円となります。

・税金

個人受益者については、分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の価額から取得費を控除した利益に対して課税されます。

なお、法人の課税は異なります。また、税法が改正された場合等には、変更となることがあります。

詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

当資料のご利用にあたっての注意事項等

■投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、貯金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。／販売会社が登録金融機関の場合、投資者保護基金に加入していません。／投資信託は、販売会社がお申込みの取扱いを行い委託会社が運用を行います。／投資信託をご購入の場合は、販売会社よりお渡りする最新の投資信託説明書(交付目論見書)等の内容を必ずご確認ください。

■当資料は、当ファンドの運用状況をお知らせするために三菱UFJ投信が作成した資料です。／当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。／当資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。／当資料中のグラフ・数値等は、過去の実績・状況であり、将来の市場環境等や運用成果等を示唆・保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮していません。

■市況動向および資金動向等により、ファンドの基本方針通りの運用が行えない場合があります。

《ご購入の際には、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。》

お客さま専用
フリーダイヤル  **0120-151034**
受付時間/9:00~17:00 (土・日・祝日・12月31日~1月3日を除く)

<オフィシャルサイト> <http://www.am.muam.jp/>
<モバイルサイト> <http://k.m-muam.jp/a/1/3>
基準価額・分配金をメール配信(*メール配信対象外ファンドもあります。)



